

I 期 (一般)

平成 31 年度

武蔵野大学大学院 人間社会研究科 人間学専攻 臨床心理学コース 入学試験問題 (9 月 23 日)

[心理学]

I 以下の 1~5 の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

- 1 ある小さな村の住民 (大人に限定) の孤独感を調べるために調査を実施し、全員から回答を得た (悉皆調査)。この村の住民の特徴を明らかにする方法として、適切でないものを一つ選べ。
- a 孤独感の得点分布を先行研究と比較し、この村の住民の孤独感の高さを調べる。
b 孤独感の得点分布を先行研究と比較し、極端に高い得点となった住民がいるか、いた場合にその頻度などを調べる。
c 村の出身者とそうでない者とで得点分布を作成し、両者の孤独感に違いがあるかを調べる。
d 使用した孤独感尺度の信頼性・妥当性を確認する。
e ひとり暮らし世帯と 2 人以上での同居世帯との平均値を算出したうえで t 検定を施行し、この村でのひとり暮らしが孤独感の高さに影響しているか調べる。
- 2 「攻撃されたときの反撃行動に見られた男女差の原因は、男性の攻撃性が女性よりも高いこと、女性の親和欲求が男性よりも高いことの結果である」という仮説の中で、仮説的構成概念に当たるものを一つ選べ。
- a 反撃行動と親和欲求 b 男女差と攻撃性 c 男女差と反撃行動
d 攻撃性と親和欲求 e 親和欲求と男女差
- 3 以下の研究者名と業績の結合で適切でないものを一つ選べ。
- a Broca P — 運動性失語 b Freud S — 精神分析 c James W — 情動体験のメカニズム
d Titchener EB — ヴェルツブルク学派 e Ebbinghaus H — 再学習実験
- 4 知能検査の歴史に関する記述として、最も妥当なものを一つ選べ。
- a Binet A は、陸軍兵士の知能を調べるための検査を作った。 b Binet A は、知能指数 (IQ) の公式を作った。
c Binet A は、イギリスの心理学者である。 d Binet A は、知能偏差値を導入した。
e Binet A は、精神年齢という概念を用いた。
- 5 統計的検定をパラメトリック検定とノンパラメトリック検定とに分けたとき、パラメトリック検定に該当するものを一つ選べ。
- a t 検定 b カイ 2 乗検定 c 符号検定 d 二項検定 e u 検定

II 以下の1~5の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

1 Breslow Lのいう7つの健康生活習慣に含まれていないものを一つ選べ。

- a 十分な睡眠をとる。 b 毎食後、歯を磨く。 c 朝食を毎日取る。
d 間食をあまりしない。 e ストレスをためない。

2 医療において、患者が治療方針の決定に積極的に参加し、その決定に従って積極的に治療を受け入れようとすることを意味する用語として最も妥当なものを一つ選べ。

- a コンプライアンス b インフォームドコンセント c セルフ・エフィカシー
d セルフコントロール e アドヒアランス

3 健康関連 QOL の測定を目的として開発された心理尺度を一つ選べ。

- a CMI b GHQ c MMPI d MMSE e SF-36

4 ストレスマネジメント教育に関する記述として、誤っているものを一つ選べ。

- a 対象年齢は問わない。
b 一次予防に特化された教育である。
c ストレスについての知識の習得とコーピングの練習が必要である。
d 多様なコーピングを実践できるようになることが目的である。
e 個人教育と集団教育の両方が可能である。

5 児童福祉法で児童福祉施設として規定されていない施設を一つ選べ。

- a 助産施設 b 母子生活支援施設 c 保育所 d 情緒障害児短期治療施設 e 乳児院

III 以下の1~5におけるA~Dの文章のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、右のa~eの組み合わせの中から正しいものを一つ選べ。解答は、解答欄に記号で記せ。

	A	B	C	D
a	○	○	×	×
b	○	×	○	×
c	×	○	○	×
d	×	×	○	○
e	○	×	×	○

1
A 相関係数は標本データの選び方によって値が変わる。

B 変数 α と β の間の相関係数が0に近い数値であった場合、この二つの変数の間には間違いなく相互関係がないことが証明される。

C 変数 α と β の間の相関係数が1に近い数値であった場合、 α が β に影響を及ぼしていることが証明される。

D 変数 α と β の間の相関係数が1に近い数値であった場合でも、第三の変数 γ の影響により相関係数が高くなっている場合がある。

2
A 性別、職業、出身地、年齢は名義尺度で表される。

- B マラソンの順位、治療効果の段階評価は、順序尺度で表される。
- C 温度、テストの点数は、間隔尺度で表される。
- D 身長、体重、知能指数は、比率尺度で表される。

3

- A 研究仮説と対立仮説は同じものである。
- B 帰無仮説を棄却し、対立仮説を採択するということは、一般に“差がない”と判断することである。
- C 一般に、データから計算された検定統計量の値がその臨界値未満であれば、帰無仮説を棄却することはできない。
- D 差の方向を特定した研究仮説を立てた場合、片側検定よりも両側検定の方が、その研究仮説が正しいという判断が下される確率が高くなる。

4

- A 心理尺度の信頼性は、同一の対象者に期間を空けて同一のテストを実施し、一回目と二回目のテストの回答結果について相関係数を算出することで検討可能である。
- B 心理尺度の信頼性は、一つのテストの結果を等質に折半し、その相関係数を算出することで検討可能である。
- C 心理尺度の内容的妥当性は、作成した尺度と外的基準の尺度の得点結果について相関係数を求めることで検討可能である。
- D 心理尺度の並存的妥当性は、検査の結果と検査を実施してから一定の期間を経て得られた外的基準との相関関係を求めることで検討可能である。

5

- A WAIS-IV、田中ビネーV、WMS-R は、知能検査である。
- B バウムテスト、P-F スタディ、MPI は投影法の心理検査である。
- C CMI、BDI、MMPI は質問紙法の心理検査である。
- D 内田クレペリン検査、ベンダーゲシュタルトテストは作業検査法の心理検査である。

IV 以下の1~5におけるA~Dの文章のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、下のa~eの組み合わせの中から正しいものを一つ選べ。解答は、解答欄に記号で記せ。

	A	B	C	D
a	○	○	×	○
b	×	×	○	○
c	○	×	○	×
d	○	○	○	×
e	×	○	×	○

1

- A Eysenck HJ は、因子分析の手法を用いて、人格を個別的反応、習慣的反応、特性、類型の4つの階層構造からなると考えた。
- B ビッグファイブとは、外向性、協調性、誠実性、神経症傾向、経験への開放性という5次元をもって、人格の特性を最も網羅的かつ効率的に表現できると仮定するものである。
- C Cattell RB は、16因子の性格特性を明らかにし、NEO-PI-Rを作成した。
- D Sheldon WH は、内胚葉型、中胚葉型、外胚葉型という3つの類型から人格を仮定する理論を提唱した。

2

- A Ekman P は、幸福、嫌悪、驚き、悲しみ、怒り、恐怖の 6 種類を基本的感情として提唱した。
- B James W は、身体反応は、情動経験の原因ではなく結果であると仮定するジェームズ・ランゲ説を提唱した。
- C Cannon WB は、情動における視床の働きを重視するキャノン・バート説を提唱しており、これは中枢起源説とよばれることもある。
- D Gibson EJ は、情動経験は、自律神経系の活性化と環境内の手がかりによるその解釈という二つの要因から成立するという情動の 2 要因説を提唱した。

3

- A 集団所属性や役割関係によって規定される自己概念を社会的アイデンティティと呼ぶ。
- B 社会的自己とは、周囲の人々から受け取る自分についての認識に基づいて形成される自己の側面を意味する。
- C 社会的促進とは、他者が存在する時は、一人で行うときと比べ、自身の課題遂行量や作業成績が高まる現象のことである。
- D 社会的手抜きとは、集団で協同作業を行うとき、一人当たりが投与する作業への遂行量が人数が多くなるほど上昇する現象。

4

- A コーシャス・シフトとは、集団討議を経た後の決定の方が、個人で単独に決定を行った場合よりも、より危険性の高い決定になることである。
- B 集団規範とは、成員同士に共有された意見や態度、価値観のことを意味する。
- C 同調とは、集団や他者の設定する標準ないし期待に沿って行動することであり、集団のサイズが大きくなればなるほど、同調率は増大する。
- D ブレインストーミングとは、Osborn AF が提唱した創造的アイデアを生み出す、集団発想法のことである。

5

- A 反社会性パーソナリティ障害では、他人の動機を悪意あるものと解釈するといった広範な不信と疑い深さがみられる。
- B 自己愛性パーソナリティ障害では、自分が注目の的になっていないと楽しくない、過度な衝動性と人の注意を引こうとする広範な様式がみられる。
- C 境界性パーソナリティ障害では、理想化とこき下ろしなど不安定で激しい対人関係や、自己像、感情などの不安定性、著しい衝動性の広範な様式がみられる。
- D 依存性パーソナリティ障害では、面倒を見てもらいという過剰で広範な欲求があり、そのために従属的ですがみつような行動がみられたり、分離への不安がみられる。

V 以下の 1~5 の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

- 1 知覚に関する以下の記述のうち誤っているものを一つ選べ。
 - a 流れていく滝を見つめた後、他の景色を見たときに滝が上に動くようにみえる現象を運動残光という。

- b 色知覚の三色説とは、赤、緑、青の三原色の波長の光に選択的に反応する視物質の存在によって、あらゆる色の知覚が可能になるという仮説である。
- c プレグナンツの法則とは、知覚の体制化がより簡潔・単純な方向に向かって起こる傾向である。
- d 多くの人が話す中でも特定の人とスムーズな会話ができる現象をカクテルパーティー現象というが、これは人の選択的注意機能によって可能になる現象である。
- e 先行刺激で無視した物体が、後続刺激の反応を遅延させる効果を変化の見落としという。

2 記憶についての以下の説明のうち正しいものを一つ選べ

- a ワーキングメモリーは短期記憶のレベルでのみ作動し、長期記憶にアクセスすることはない。
- b エピソード記憶と意味記憶はいずれも日常的な経験から作られるが、意味記憶には、経験の時間や場所などの情報は含まれない。
- c ヒトにある言葉のリストを記憶させた場合、最初のほうの単語が再生されやすいことを新近効果という。
- d 災害や事故など強い心理的苦痛を受けた場合には、その記憶は抑圧され、再生されにくい。
- e 自伝的記憶では、似たような出来事を経験することでより詳細に内容が記憶できるようになるという特徴がある。

3 学習理論についての以下の記述のうち正しいものを一つ選べ。

- a 犬に投げた棒をくわえて戻ってくると餌をあげることで、棒を持ち帰る技能を身につけさせる訓練は古典的条件づけに基づいている。
- b 犬に餌とともに、音をきかせることを繰り返すと音刺激のみでも唾液を出すようになるが、これは同時条件づけを行ったオペラント条件づけである。
- c パニック障害患者では、最初の発作刺激が起こった状況（エレベーターの中）が次第に拡大する（電車や飛行機など）現象である汎化がしばしば見られる。
- d 罰を与える実験で、行動から時間がたつて被験者が冷静になってから与える場合に正の強化が効果的に働く。
- e 回避訓練とは、反応しない場合に報酬刺激を与えるものである。

4 行動療法に関する以下の組み合わせのうち不適切なものを一つ選べ。

- a 系統的脱感作 — 不安階層表 b フラッディング — 嗜癖行動の消去
- c 自律訓練法 — バイオフィードバック d トークン — 正の強化
- e リラクセーション — イメージ脱感作

5 言語の習得に関する以下の記述のうち正しいものを一つ選べ。

- a 言語習得は、Chomsky N の提唱した生成文法理論に基づく生得的な能力だけでなく、環境要因との相互作用によって生じる。
- b 子どもの言葉の意味学習において、大人の見るものを追従するなど、大人の反応が重要であるが、このことを認知的制約という。
- c 子どもは、最初「アウー」などの喃語からはじまり、その後多音節のクーイングの発語へ進むようになる。
- d Wernicke 失語は運動性失語と呼ばれ、言語の理解はできるが、表出が困難になる病態である。
- e ディスクレシアは読字の障害のみであり、書字の障害は含まれない。

VI 以下の1～5の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

1 働く人々のストレスやメンタルヘルスに関する以下の記述で正しいものを一つ選べ。

- a 働く人のストレスの軽減やハイリスク者の早期発見などの目的でストレスチェック制度が導入されたが、これは労働者個人の義務で行うものである。
- b 過労死の防止のために、企業が行うべきことは長時間労働の削減のみである。
- c うつ病等で職場を休職した人のスムーズな復職を行うためにキャリアコンサルティングが勧められる。
- d 企業が労働者のメンタルヘルスを行う上で利用できる外部資源としてEAPがあげられる。
- e 企業に対して職場のメンタルヘルスの努力義務を定めた法律は労働基準法である。

2 職場の労働環境に関する以下の記述で誤っているものを一つ選べ。

- a ワークライフバランスとは、仕事と生活の調和をとることで得られる相乗効果や良い循環を意味する。
- b 両立支援には、女性のみではなく男性も育児休業やフレックスタイムを利用することを推進していく必要がある。
- c がん、脳卒中などの疾病を抱える労働者に対して、雇用者が適切な就業上の措置や治療に対する配慮を行えるようにすることも両立支援である。
- d キャリアコンサルタントは、労働者の職業の選択、職業生活設計又は職業能力の開発及び向上に関する相談に応じ、助言及び指導を行う専門家であり、国家資格である。
- e 就労継続支援A型事業は、雇用契約に基づく就労が困難な障害者に対して就労の機会や訓練の提供を行うものである。

3 以下の記述で職場におけるパワーハラスメントに該当するものを一つ選べ。

- a 妊娠したため、上司に報告し育児休業を請求したら、「ウチは育休を取れる状況ではない」と言われた。
- b 女性社員が上司から性的関係を迫られ拒否したら解雇された。
- c 会議で上司と異なる意見を述べてから、必要な資料が配布されなかったり、仕事のチームからはざされるようになった。
- d 女性の上司が男性の部下に対して、男なのにこんなこともできなのかと叱責した。
- e 大学院生が教授から、授業の手伝いや私用を押し付けられ断ったら、論文の指導をしられなくなった。

4 ダイバーシティ・マネジメントについての以下の記述で不適切なものを一つ選べ。

- a 仕事の結果に賞与や昇進などの処遇を直結させることで、企業の成果をあげることである。
- b 多様な雇用契約の人に対して平等に処遇し、組織の効率を高めていくことを目指した管理である。
- c 女性や障害者が働きやすい環境を整えることが重要である。
- d 非常勤勤務や時短勤務など働く人のニーズに対応した雇用管理が重要である。
- e セクシャルハラスメントやパワーハラスメント対策も含まれる。

5 組織における人の行動についての以下の記述で適切ではない組み合わせを一つ選べ。

- a バーンアウト — 脱人格化 b 動機づけ理論 — 衛生要因
- c ハインリッヒの法則 — ヒヤリ・ハット d チェルノブイリ事故 — コンプライアンス

VII 以下の1～5におけるA～Dの文章のうち、正しいものの組み合わせを、下のa～eの中から一つ選べ。解答は、解答欄に記号で記せ。

a AとB b BとC c CとD d AとD e a～dの中に正しいものの組み合わせはない

1

- A 出生後間もない新生児も、あやすと笑い、周囲の母性を誘うことができる。
- B 生後4か月で頸が据わっていない場合、発達に問題があることを疑う必要がある。
- C 人見知りとは、生後1年ころがもっと激しく、1歳時検診の際に発達を確認する指標になる。
- D 乳児が寝返りを打てるようになるのは、通常、お座りができるようになってからである。

2

- A 吸啜反射は、口の中に入れられたものを吸う運動をする反射であり、母乳を飲む際に見られる。
- B 把握反射は、新生児の手のひらを圧迫すると、反対側の手を握り締める反射である。
- C 歩行反射は、歩行時のようなステップ運動をする反射であり、自力歩行ができるようになってから出現する。
- D 原始反射は、発達に伴い消失していくため、発達診断において重要な指標になる。

3

- A Piaget Jは、人格発達の理論を提唱した。
- B Freud Sの理論は、Erikson EHの理論が土台になっている。
- C Mahler MSは、精神分析的観点から乳幼児の内的世界を研究した。
- D Jung CGは、中年期を「人生の正午」と呼んだ。

4

- A 児童福祉法に定められる「児童」とは、満12歳に満たない者をいう。
- B 教育に関する基本的な法律である教育基本法は、憲法よりも上位に位置づけられる。
- C 学校教育法における学校とは高等学校までのことであり、大学は含まれない。
- D いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義には、インターネットを通じて行われるものは含まれない。

5

- A 双生児は、一卵性であっても二卵性であっても、遺伝子は100%同じである。
- B こころの発達について考える際に、行動主義のWatson JBは、環境優位説の立場に当たると言える。
- C こころの発達について考える際に、Stern Wが提唱した輻輳説は、遺伝要因と環境要因をともに重視している。
- D Gesell ALらが提唱した成熟優位説は、環境的要因の影響が発達の主要な要因であるとする考え方である。

VIII 以下の1～5の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

- 1 13歳の少年が殺人事件を犯して保護された際に、処遇が決定されるまでに通常は会うことになる者を一つ選べ。
- a 検察事務官 b 家庭裁判所書記官 c 保護観察官 d 社会復帰調整官 e 正解なし
- 2 16歳の少年が殺人事件を犯して逮捕された際に、処遇が決定されるまでに通常は会うことがない者を一つ選べ。
- a 司法警察員 b 家庭裁判所調査官 c 検察事務官 d 地方裁判所裁判官 e 正解なし
- 3 18歳の少年が殺人事件を犯して逮捕された際に、処遇が決定されるまでに通常は会うことがない者を一つ選べ。
- a 裁判員 b 家庭裁判所裁判官 c 地方裁判所裁判官 d 検察官 e 正解なし
- 4 18歳の少年が暴行事件を犯して逮捕された際に、処遇が決定されるまでに通常は会うことがない者を一つ選べ。
- a 裁判員 b 家庭裁判所調査官 c 家庭裁判所事務官 d 検察事務官 e 正解なし
- 5 22歳の成人が殺人を犯して逮捕された際に、処遇が決定されるまでに通常は会うことになる者を一つ選べ。
- a 司法警察員 b 保護司 c 保護観察官 d 家庭裁判所裁判官 e 正解なし

IX 以下の1～5の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

- 1 精神分析理論以外の学派の用語として知られているものを一つ選べ。
- a 転移 b 不合理な信念 c 口唇期 d 検閲 e 前額法
- 2 会話を主に用いる治療法を一つ選べ。
- a 家族療法 b 箱庭療法 c コラージュ療法 d 音楽療法 e マインドフルネス
- 3 自閉（症）スペクトラム（症）との関連で検討されてきたものとして、あまりみられないものを一つ選べ。
- a こころの理論 b 母親の養育態度 c 視線 d オウム返し e 感染症
- 4 ユング派の心理学の鍵概念として知られるものを二つ選べ。
- a 老賢人 b 個性化の過程 c 現実原則 d かのような性格 e 修正情動体験
- 5 知的障害があったとされる著名人を1人選べ。
- a 葦原将軍 b モーツァルト c 山下清 d ヘレンケラー e 塙保己一

X 以下の1～5の各問に答えよ。解答は、解答欄に記号で記せ。

1 情動と生理に関する古典的な学説を二つ選べ。

- a ジェームズ・ランゲ説 b ワトソン・クリック説 c キャノン・バード説
d パウル・ランゲルハンス説 e コッホ・ワッセルマン説

2 てんかんの検査で、通常まず調べるものを一つ選べ。

- a 跳躍伝導 b 脳波 c 皮膚電気 d 膝蓋腱反射 e ATP

3 以下のうち、もっとも大きな範疇になるものを一つ選べ。

- a 末梢神経系 b 自律神経系 c 交感神経系 d 副交感神経系 e 体性神経系

4 ストレスを長期間受けることによって萎縮するとされ、PTSDや認知症等の研究で対象とされる脳の部位を一つ選べ。

- a 小脳 b 海馬 c 脳下垂体 d 松果体 e 外側溝

5 睡眠に関する用語でないものを二つ選べ。

- a ナルコレプシー b 夜驚 c レム d ドロップアウト e 垂涎